

明智玉が何故細川 ガラシャになったのか

玉（玉子）は、親交のあったさるイエズス会士に宛てて、「たとえ万物が消滅しても、私の信仰はゆるがない」と書いているが、味土野での絶望的な暮らしが、彼女にキリスト教への帰依を用意した。

■講師 京丹後市弥栄町在住 翻訳・劇作家

横島 昇氏

■日時 令和2年10月11日(日) 13時30分～15時30分（開場13時）

■会場 長岡京市立産業文化会館 1階 大会議室

■定員 先着50名（9月7日9時から受付開始） ■資料代300円（当日受付にて）

■申込み Fax又はメールでお名前、電話番号、市町村名を記入してお申し込み下さい。

NPO法人長岡京市ふるさとガイドの会 FAX 075-954-5523、✉ nagaokakyoguide@yahoo.co.jp

★当日のお願い・・・マスクの着用をお願いします。

・発熱や風邪症状など体調不良の場合は参加をご遠慮下さい



細川ガラシャ夫人(大阪玉造教会壁画の下絵)

京都府立堂本印象美術館提供 美術館では日本
画家堂本印象画伯の多くの作品が鑑賞できます。



細川忠興夫人(明智玉)隠棲地の碑
(京丹後市弥栄町味土野女城址)

●主催 NPO法人 長岡京市ふるさとガイドの会

●共催 長岡京市

●後援 長岡京市観光協会

●問合せ NPO法人 長岡京市ふるさとガイドの会 高橋

☎ 090-7366-3107

